

第 77 回 青森県中学校英語弁論大会実施要項

主催 青森県中学校文化連盟
共催 青森県中学校教育研究会英語部会
後援 青森県教育委員会
八戸市教育委員会
読売新聞社
日本学生協会 (JNSA) 基金
主管 八戸市中学校文化連盟英語専門部

1 目的

国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与することを目的とする。

本大会は高円宮杯第 77 回全日本中学校英語弁論大会ならびに第 73 回東北六県中学校英語暗唱・高等学校英語弁論大会の青森県予選会を兼ねるものとする。

2 期日 令和 7 年 9 月 2 5 日 (木) 13:00~16:00 (受付開始 12:30)

3 会場 SG GROUP ホールはちのへ (八戸市公民館)
〒031-0075 八戸市内丸一丁目 1-1 TEL 0178-45-1511

4 参加資格

(1) 本県中学校に在籍する生徒で、校長が推薦する者。各地区を代表する暗唱の部、創作の部の各 1 名の計 2 名以内とする。開催地代表は 3 名までは出場できるが、1 つの部門に 3 名全員が出場することはできない。該当校長は推薦の際、事実関係を確認の上、下記①~④に抵触しないことを証するものとする。

- ① 満 5 歳の誕生日以後に、通算 1 年以上または継続して 6 か月以上、英語圏に居住した者。
- ② 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校 (アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む) に 6 か月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。
- ③ 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏出身者がいる場合。
- ④ 過去に高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の中央大会において 1 位から 3 位に入賞した者。

※「英語圏」一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。

<https://www.jnsafund.org>

5 全国大会及び東北大会への青森県代表について

- (1) 大会は暗唱の部と創作の部に分けて審査する。
- (2) 創作の部の上位 3 名は全国大会への青森県代表となる。

高円宮杯第 77 回全日本中学校英語弁論大会

決勝予選大会 令和 7 年 1 1 月 2 6 日 (水)・2 7 日 (木) 於：赤坂区民ホール

決勝大会 令和 7 年 1 1 月 2 8 日 (金) 於：有楽町よみうりホール

- (3) 暗唱の部の第 1 位入賞者は東北大会への青森県代表となる。

第 73 回東北六県中学校英語暗唱・高等学校英語弁論大会

中学生の部 令和 7 年 1 1 月 7 日 (金) 於：ほくしか鹿鳴ホール

6 弁論大会に関する規定

〈創作の部〉 論 題：自由

内容は、生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。
また、剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。

制限時間：5 分

超過した場合は減点とする。最初の 15 秒超過までは審査員ごとの合計点から 3 点ずつ減じ、以後 15 秒ごとに 3 点ずつ減じる。

- 禁止事項：(a) マイクなど音声機器は使用しない。
 (b) 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。
 (c) 演壇の前及び横に出てスピーチすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。
 (d) 上記の条項に違反した場合は、審査員の合議により減点対象となる場合がある。

出場順：大会事務局において抽選で決定する。

〈暗唱の部〉 創作の部に準ずるものとする。
 題材は中学校教科用図書掲載（旧版可）のものに限る。

7 審査方法

- (1) 審査員は5名とし、いずれも出場校に関係のない者とする。外国人を含むことを原則とするが、外国人が半数を超えないものとし、審査員長は日本人とする。採点の公表はしない。
- (2) 以下の観点から審査する。
 - ① 創作の部 3つの観点（内容、英語力、表現）から審査する。特に内容を重視する。
 Contents (40) English (30) Delivery (30) 合計100点
 - ② 暗唱の部 2つの観点（英語力、表現）から審査する。
 English (60) Delivery (40) 合計100点
- (3) 審査は審査員が100点満点で採点し、審査員ごとの順位点の合計で順位をつける。順位点が同点の場合は、審査員の総合審査により決定する。

8 表彰

- (1) 両部門とも1位から3位までの計6名を入賞とする。また、賞状を与える。
- (2) 暗唱の部第1位には持ち回りのトロフィーを、創作の部第1位には持ち回りの優勝杯を与える。
- (3) 両部門入賞者には、大会主催者より盾と賞状が贈られ、読売新聞社より賞状が贈られる。
- (4) 創作の部における入賞者（県代表生徒）の往復交通費及び宿泊費の一部が、規定に基づき中央大会主催者より補助される。

9 参加申込

- (1) 地区大会終了後、別紙「高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会参加申込書（2025）（道府県大会）」に必要事項を記入し（顔写真不要）、スキャンデータを電子メールで大会事務局に送信する。申込書原本は、大会当日受付で提出する。
- (2) 原稿（A4判 縦長1枚）は、電子メールで、大会事務局に送信する。9月12日（金）を締切とする。送信は、学校のアカウントから行う。
- (3) 原稿作成時は以下の点に注意する。
 - ① タイトル・氏名・学年・学校名を明記する。暗唱の部の原稿の下部には使用教科書名、出版社を必ず記載する（下記（例）参照）。
 - ② 創作の部は、別に任意様式で日本語の内容要約（200字程度）を添付する。
 - ③ フォントの種類はTimes New Romanとし、フォントサイズは特に指定しない。
 - ④ 上2.5cm，下左右に2.0cmの余白をつけ、1ページにまとめる。
 - ⑤ 氏名は、「姓→名」で表記する。姓は、大文字にする。

(例)

<p>A Graduation Gift from Steve Jobs</p> <p style="text-align: right;">YAMADA Taro (3rd year)</p> <p style="text-align: right;">Hachinohe J. H. S.</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※暗唱の部は、引用教科書名、出版社を必ず記載すること。
 創作の部は日本語の内容要約（200字程度）を添付すること。

10 参加料 選手1名につき2,500円(当日受付にて受領)

11 参加申込先・問い合わせ先(大会事務局)

八戸市立白山台中学校 教諭 磯邊 貴洋

〒039-1113 八戸市西白山台3-24-1

TEL: 0178-70-1570 E-mail: hakusn_j@hec.hachinohe.ed.jp

12 その他

(1) カメラ撮影等において、以下の行為を禁止する。

① ビデオライトの利用やフラッシュの使用、シャッター音やボタン操作音を発すること。

② 会場内で撮影又は録音したものを個人のSNSを含むインターネット上に掲載すること。

万一掲載したことにより問題が生じた場合、当事者の責任とする。主催者・共催者・後援者のいずれもその責任を負わない。

③ その他、出場者の発表に影響を与える可能性があること。

(2) 運営上の諸事情により、対応策を講じることが必要になった場合は後日通知する。

(3) 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の決勝大会出場者のスピーチ動画は、インターネット等を通じて公開されることとなる。公開されるのはスピーチ動画に加えて、スピーチのタイトル、生徒氏名、学校名、学年となり、中央大会に代表生徒として進むためには、これらの肖像権等に関する事項の同意が必要となる。

(4) 原稿をポケット等に忍ばせておくことは認める。ただし、演台に置くことは禁止。スピーチに詰まって原稿を出した時点で審査員ごとの合計点から5点ずつ減じる。また、スピーチがストップした状態が30秒続いた場合は、事務局が原稿を見るよう促し、その場合も審査員ごとの合計点から5点ずつ減じる。

これらの減点作業は、事務局が行う。なお、ステージ袖にプロンプターの配置はしない。

(5) 地区大会において、審査基準(内容・英語力・表現)に基づく厳正な審査による結果としての県大会出場であるため、タイトルや内容(論旨・構成を含む)に係る変更・修正は認めない。ただし、明らかな文法ミスや英語表現の誤用についての一部微修正は認める。(その修正が内容(論旨・構成)に影響を与える場合は認めない。)指摘が本人や指導者等による申し出があれば認めるが、審査員からのものであれば、審査結果の具体・詳細は原則として公表しないため、変更は認めない。